

取扱説明書

FS1E - ⁰²04 - 3 - 2TP

概 要

この電磁弁は、1種危険場所（通常の状態において危険雰囲気生成をおそれのある場所）および2種危険場所（異常な状態において危険雰囲気生成をおそれのある場所）において使用する4方口電磁弁です。

なお、防爆構造は耐圧防爆構造＝d、爆発等級＝2、発火度＝G4で、社団法人産業安全研究協会の検定に合格しています。

耐圧防爆構造とは、ソレノイド、端子接続部分等で、万一短絡（ショート）して火花が出たりあるいは過熱して外部から浸入した爆発性ガスに着火、爆発した場合に、その爆発を防爆機器内にとどめ外部の爆発性ガスへの影響を防ぐ構造のものです。

防爆の機能に影響のある部分のボルトには錠締を施してあり、このボルトをゆるめることは防爆性を失うこととなりますから責任者以外は手を触れさせないことが特に必要です。

また、耐圧防爆構造では導線引込方式が重要になり、当社では端子箱より本体への導線引込みは、耐圧スタッド式引込方式を採用し、端子箱の中にしゅうぶんな防爆性をもたせて接続用端子を納めております。それと並行して外部導線の端子箱への引込方式としては電線管ネジ結合方式を原則としております。

ボンネットに記号d 2 G 4が明示されてありますが、これはこの耐圧防爆構造において空気中に存在することを許される爆発性ガスの範囲を示すと共に一般工場用を意味するものであり、このため船舶用としては使用できません。

配管及配線を取り外す。

(A) 配管を取り外す。

① ピストンを抜き取る。

② 取り外す。

③ スリーブを抜き取る。

分解図参照のこと。

注意事項

① スプーンを抜き取り長く空気中に放置しないでください。

(油中につけておくのがよい)

② 電磁弁を取り付ける前に管路内は出来るだけ清掃してください。

① (ゴミ、バリをよく、取除いてください。(バルブ取付時フラッシングを行ってください))

③ スリーブ、スプーンを抜き取る場合、素手にてふれた手でゴム手袋等をはめて抜いてください。(素手にてふれたところから腐蝕する)

④ 組立てる時はスリーブ外面及びパネ穴、スリーブの内面にゴミ類を付けない様よく洗浄した上で組立てる。

⑤ ネジ山まではネジを締め付けおいてください。

2 弁前にはフューズを必ず取り外すこと。レガコイルを使用した場合で電圧の値が異なる場合は必ず電圧を調整してください。(必ず電圧調整を行うこと。)

① 油圧ポンプの油圧を必ず確認してください。(必ず油圧ポンプを使用してください。)

3 取付時に電磁弁に無理な力を加えずに緩やかにしてください。

② 取付場所は出来るだけ振動や衝撃の少ない場所を取付けしてください。(必ず)

5 配管後は各部からの漏れがないか必ず点検を行ってください。

6 保守の際に工具が出来るスペースを考慮してください。

7 (B) 配線

1 電線は芯線2.5mm以上の電線を使用してください。

2 電気回路保護用として容量3.Aのヒューズを入れてください。

3 電気回路スイッチは出来るだけ接点容量20.A以上のスナッチアクションのもの、又はリレーを使用してください。

4 電圧の表示はソレノイドハウジングの上に表示してあります。

5 リード線引出口のネジ径はP.F.1/2です。

維持管理

(A) 分解

1. バルブ本体の分解